

製品名: FOXL2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87538**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW:39 kDa; Observed MW:49 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 遺伝子名 | FOXL2 |
| 別名 | BPES; PFRK; POF3; BPES1; PINTO |
| 遺伝子 ID | 668 |
| SwissProt ID | P58012 |
| 免疫原 | ヒト FOXL2 の合成ペプチド |

背景

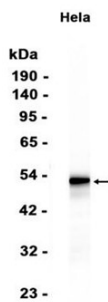
この遺伝子はフォークヘッド型転写因子をコードしています。このタンパク質はフォークヘッド型 DNA 結合ドメインを有し、卵巣の

発達と機能に関与している可能性があります。この遺伝子におけるポリアラニンリピート領域の拡大やその他の変異は、眼瞼裂狭窄症候群および早発卵巣不全の原因となります³。[RefSeq 提供、2016年7月]

研究分野

-

画像データ



FOXL2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。